

オミクロン株流行によりレベル3に移行

資料 2

オミクロン株の新規陽性者数が概ね**100人/日以上**(7日間平均)又は増加比が概ね**300%以上**が**2週間継続**の場合

病床確保レベル3

保健・医療
提供体制

医療機関

確保病床（計画） **6,891床**・重症者病床**510床**

入院待機ST

46床

(平成立石病院 20床、永生病院 16床、東京北医療センター 10床)

酸素・医療ST
【施設型】

600床

(旧赤羽中央総合病院 150床、築地デポ 191床、調布庁舎 84床、都民の城 140床、区主導型（練馬） 35床)

酸素・医療ST
【病院型】

120床

(荏原病院 40床、豊島病院 40床、多摩南部地域病院 20床、多摩北部医療センター 20床)

宿泊療養施設

1月中旬以降**4,760室**体制、さらに居室確保に向けて調整中

オミクロン株流行によりレベル3に移行

保健・医療
提供体制

レベル3の体制

検査体制

行政検査：約10万件/日、無料検査：最大3万件/日

自宅療養体制

発熱相談センターの体制強化
自宅療養者フォローアップセンターの体制強化
入院調整本部の体制強化
医療機関による健康観察の促進（協力機関 約900医療機関）
自宅療養者の往診体制を強化

- ・ 都内全域オンライン診療、
- ・ 広域的に実施する10医療機関を先行指定）

経口薬の提供体制の確立（医療機関958件、薬局1,317件登録済）

保健所体制

人材確保、健康観察の進捗の見える化やチャットボット、ウェアラブル端末による健康観察を先行実施
保健所を通さず宿泊療養を希望する患者が直接申し込む体制を強化

ワクチン

医療従事者及び高齢者施設入所者・従事者の先行接種
一般高齢者、警察・消防関係者の前倒しに向けて国や区市町村と調整